



NPO 法人 つくば環境フォーラム

令和6年度活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、2001 年に発足しました。

つくば環境フォーラムは、環境情報活動センターとしての機能を軸として、広く一般市民に対して、環境にかかわる情報の収集・発信・活動の連携の促進、つくば周辺地域の自然環境の調査・研究・保全活動、環境教育の推進、環境に配慮したまちづくりの研究・提案に関する事業を行い、多くの人の環境に関する意識の啓発・活動への参加を促し、地域社会の環境保全活動の増進に寄与することを目的としています。（つくば環境フォーラム定款より）。

つくば市で進めている「生物多様性つくば戦略」にて、市内 10 か所の重点エリアに、つくば環境フォーラムの活動フィールド「すそみの田んぼと森」「葛城の森」の 2 ヶ所が、選定されています。

令和6年度は以下の活動を行いました。

1. 環境の調査・研究・保全事業

1-1. 筑波山麓谷津田再生事業(すそみの田んぼと森での活動)

筑波山のふもと、神郡にある「すそみの田んぼ」と名付けた自然豊かな谷津田での米づくりは、今年で 19 年目を迎えました。私たちは、0.8ha の谷津田で環境保全型の米づくりを行い、さらに周辺の里山林 2ha の手入れを通じて豊かな自然を育てています。

この地域は、環境省の「重要里地里山 500」に選定されており、ホタルやホトケドジョウなどの絶滅危惧種が生息しています。また、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てをする貴重な環境です。

この活動は稲作生産条件の良くない谷津田を地元の農家さんからお借りして里山自然の豊かな環境を保全するために谷津田再生事業として開始しました。

平成 29 年頃には、坂東太郎株式会社の「母の里山事業構想」に伴い、活動していた田んぼの約 9 割と森の約半分が坂東太郎(株)母の里山の所有となりました。現在も、坂東太郎(株)や地元農家さんから土地を無償でお借りし、里山環境保全活動や環境教育活動に活用しています。

この事業は、地元農家さん、坂東太郎(株)、積水化学工業、筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会を通じた野村不動産、そして当会ボランティアの支援によって推進されています。

「すそみ」の主な活動年表

地球環境基金：筑波山麓・新たな里山の担い手を育てる谷津田再生事業（H18～20）

→田んぼボランティア開始 支援者募集開始、体験付きオーナー募集開始

三井物産環境基金：筑波山麓地域活性化に向けて～谷津田再生から始まる都市と農村を結ぶ結づくり

→すそみろく発行

全労済地域貢献事業（環境分野）筑波山麓・都市と農村を結ぶ「すそみ」の森づくり H19,20）

→植樹活動、森の手入れ活動開始 →薪クラブの活動につながる

茨城県元気な森林づくり活動支援事業費補助金（H20）

→竹林の整備、山口への道づくり

子どもゆめ基金：里山子どもワンダーランド作戦（H20）

損保ジャパン環境保全プロジェクト（H21）

→田んぼの生きもの調査（ホタル、水生昆虫、ホトケドジョウ）

緑の募金公募事業（ローソン緑の基金）（H21～H27）

→植樹、植樹地の手入れ

耕作放棄地緊急総合対策事業費（NPO 参入支援事業費関係）（H22）

→御手洗農場裏山の整備

筑波山麓 GT 推進協議会を通しての野村不動産(株)の田植え稲刈り体験活動開始（H24～R1、R5～）

（有）武平ファームの協力（H24～）、地元農家よりトラクターの提供

→米づくりに関して外注から内部化への動きが始まる

積水化学工業(株) 主に森づくりに参加（H25 頃～）

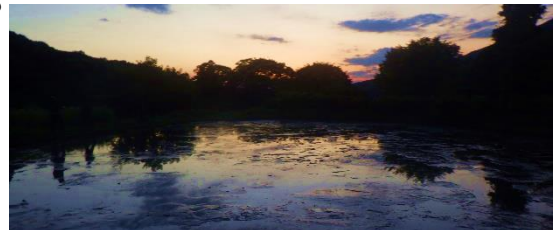
坂東太郎(株)母の里山事業で、田んぼや森の多くが「母の里山」名義となる（H29 頃より）

メタウオーター(株)の参加（H30～R5）

集中豪雨による土砂崩れやイノシシ侵入による畔の消失の修復を、内部人材で行った。

→管理について内部化が進む

富士電機(株)筑波工場新入社員研修（R4、R5）



今年度の主な活動

- ・田んぼボランティア 21 名登録、年間56日の作業、12回のイベント活動サポート。
田んぼボランティアの手で無農薬かつ周囲の森の落ち葉や伐採した枝葉の焼却灰を肥料にして米づくりを行いました。雑草を抑え、イノシシにも侵入されずに無事収穫を迎えることができました。秋～冬に周辺の森や藪の手入れ活動、バックホウを使っの作業道などの工事を実施。
- ・沢水だけの米作り支援金77口。
- ・自主イベント：田植え始め5/4、田植え5/26 ホタル観察6/15、6/29 稲刈りはじめ9/15
- ・筑波山麓GT推進協議会を通しての野村不動産㈱の参加とご支援。
- ・田植えイベント2回（5/11、5/18）、稲刈りイベント1回（9/21）を実施
- ・積水化学工業㈱ 6/22 田植え、7/6 ホタル、10/22 稲刈り
- ・田井の秋祭り 11/3、支援者へのお米の手渡し、みその販売などの企画参加。
- ・野焼き 1/19。
- ・筑波山神社新嘗祭 11/23 に奉納。
- ・坂東太郎ホタル観察（6/8 青谷会長参加）

●参加のべ人数は706名（参加者のべ439名、田ボラのべ267名）。

今年度の調査研究

- ・筑波大学大学院田中歩氏のハナウドへの訪花昆虫調査。



1-2. 葛城の森での活動

平成15年、つくばエクスプレス（TX）の開発が目前に迫る中、国蝶オオムラサキがつくば市の平地林に住み続けられる方法を模索していました。その過程で、下平塚地区にある良好な雑木林の地権者と出会いました。その地権者は、開発後も森を残したいと考え、保有する森林の一部を保健保安林に指定していました。そして、その森にはオオムラサキが生息していることも分かりました。

この出会いをきっかけに、オオムラサキが棲み続けられるよう森を手入れし、生物多様性を保全する活動「森づくりボランティア」が始まりました。

しかし、TXの開発に伴い、多くの森が失われました。自動車研究所周辺など、オオムラサキが棲んでいた森の多くが消失したり、小さく分断されたりしました。そのような状況の中で、下平塚地区の保健保安林10haと、オオタカの営巣実績がある14haの緑地がまとまって残されることになりました。

私たちは、この合計24haの緑地を「葛城の森」と呼び、オオムラサキをはじめとする生き物たちが暮らせることを目的とした活動を続けています。

「葛城の森」の主な活動年表

地球環境基金：オオムラサキの棲む里山づくり事業（H15～17）

→地権者が森として残す意思のある森林を、オオムラサキが暮らすのに適した森として手入れする目的で、森づくりボランティア活動を開始

H15 島名小学校オオムラサキ飼育舎設置、TX 開発に伴い消失する森（島名小学区内）に暮らすオオムラサキの幼虫を保護飼育しながら島名小学校の児童に向けた教育活動を実施。

消失する森と葛城の森の距離約3kmは自動車研究所内の森を介して行き来可能と判断できるため、飼育舎で育ったオオムラサキを葛城の森に放蝶した。（H24まで）

子どもゆめ基金（H20～H23）：里山子どもワンダーランド作戦

→子どもたちの自然体験活動として里山子どもワンダーランド作戦を形を変えながら実施（R3まで）。

ロケーションビレッジの活動が始まる（H24頃より）

三井物産環境基金助成：人と自然と地域を結ぶ「オオムラサキの森」づくり（H25～H27）

→聞き取り調査、他地域の事例など、情報収集を行った。

葛城地区大規模緑地ビジョン及び行動計画作成における各種提案業務（H26）

→葛城の森の県有地と民有地を一体として捉えた管理につながる

H27～「葛城大規模緑地活用業務」（財）つくば都市交通センターとの共同体で受託

（R3まで共同体、R4よりつくば環境フォーラム単独）

→葛城里山クラブの運営（葛城フォレスト活動、里山散歩などのイベント、植生ボランティア等）

H27 松林調査、H30 湿地調査

R5 保健保安林地権者代替わり

① 森づくりボランティア（下平塚の保険保安林等、民有地での活動）

今年度の主な活動

- ・森づくりボランティアを9回実施（活動開始より通算207回の活動）。のべ56名参加。つくば市学園の森3丁目の里山隣人会メンバーに参加を呼び掛けての活動を実施、8世帯のうち5世帯が参加。
- ・ロケーションビレッジの活動2回実施。のべ47名参加。



② 葛城大規模緑地利活用事業（茨城県委託事業）

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14haは、自然環境を保全し利活用することをめざして官民協働で整備中の里山です。平成27年に設立された「葛城里山クラブ」の会員での活動を通して里山公園づくりを試みています。葛城里山クラブ会員は令和7年3月時点で登録会員760名6団体です。

会員が参加する企画「里山散歩」12回実施、のべ274名が参加。

緑地の植物調査や保全活動を行う「植生ボランティア」に20名が登録、12回の活動（8回の調査と3回の植物観察会、1回の移植活動）を実施。のべ94名の参加。



7/7 森林保健学会研修会



11/24 経営士の方々と意見交換



12/10 春日義務教育学校3年生訪問

他団体による利活用

5/15 春日義務教育学校3年生 112名

7/7 森林保健学会 24名

10/15 つくば生きもののネットワーク17名

11/24 経営士会北関東支部茨城県会茨城アイディアMTG「葛城の森」ステージ

12/10 春日義務教育学校3年生 119名

1/25 つくば市農業課鳥獣対策森林保全室身近な森の観察会44名

6/14 ENEOSほか 現地視察対応

8月～10月 NPO法人ホールアース自然学校の現地見学等

葛城フォレスター活動

里山の環境維持管理活動を刈払い機やチェーンソーの講習を受けた「葛城フォレスター」が有償ボランティアで担いました。

- ・活動日数44日、活動のべ人数348名（フォレスター22名）、体験参加のべ22名。・安全講習2回実施。
- ・他地域での活動を視察する研修1回実施（流山市市野谷の森にてNPOさとやまとの交流を兼ねて実施）。



F 除草した草の回収（近隣住宅地への配慮）



安全講習（動画撮影）



茅場の利活用と維持管理

今年度の成果

●生物多様性の保全

- ・植物調査で 427 種を確認（1 つの緑地で 250 種を超えると多様性が高いと言われています）。
- ・うち絶滅危惧種を 20 種確認。
- ・植物調査を通して確認した希少種の情報をフォレスター活動と共有、希少種の保全と生息環境の維持を実現。
- ・近隣のクロホシクサ保全のための移植活動は、地域の希少種の移植先という、当該緑地の新たな役割を示したものとなった。
- ・5 つ設置したフクロウの巣箱の 1 つで繁殖とヒナの巣立ちを確認。巣箱での繁殖成功は累計 4 回目。
- ・植生ボランティアとフォレスターでの調査と意見交換を、A エリア、C1 エリア、E2 エリアで実施できた。

●幅広い層の参加

- ・昨年比で新たに会員になった人数、イベント参加者の人数が増加しており、また他団体の利用や体験フォレスターの参加がこれまでで最も多く見られた。情報発信による広報や事務局運営による周知の成果と考えられる。
- ・地域の小学校の訪問を春と秋に受けた。会員のボランティアでのサポートで、子どもたちの安全管理と自然や歴史の案内をすることができた。
- ・他団体による利用がこれまでで最も多くあり、活動内容も多様で充実したものであった。日本経営士会北関東支部茨城県会のミーティングや日本森林保健学会学術総会研修会では、緑地の利活用についていくつもの提案をいただいた。つくば市経済部農業課森林保全室の「身近な森の見学会」では森を利用してみたい市民が多数訪れ、新規フォレスターにもつながった。つくば生きもの緑地ネットワークの見学会は、今後の研究者や他 NPO とのつながりが期待できる。

●人材育成とよりよい活動に向けて

- ・葛城フォレスター活動にて現場でのエリアの目的に応じた自発的な作業が増えていることで、効率的かつきめ細やかな環境維持管理活動を実施。
- ・各エリアの状況をフォレスターメンバーと各回把握して、柔軟な活動を設定して、生物多様性に配慮した刈り残しやクズや外来種の選択除草など、細やかな維持管理を実施。
- ・茅場の育成のための土壌調査を行うことが出来た。市民（会員）と研究者の交流の場にもなった。
- ・里山散歩を事務局スタッフも会員という位置づけで活動を行った。今後の会員の参画への流れづくりとなる。
- ・フォレスターの総活動時間は 1,519 時間（計画 1,500 時間）で今年度も目標を達成できた。
- ・フォレスターの技術向上で A エリアのスギヒノキ、C1 エリアのアカマツ等の間伐を効率的に行うことが出来た。
- ・安全講習に関する動画を作成でき、公開することができた。
- ・フォレスターメンバーの安全に関する認識が年々高まっている。作業についても意見交換しながらの主体的な活動となってきた。
- ・間伐材を用いた緑地の紹介看板を設置できた。
- ・無事故で一年間活動できました。ヒヤリハットする局面の振り返りでフォレスターから改善の意見が出るなど、安全に関する意識が年々高くなっています。

- ・参加のべ人数は 1070 名。

1-3. 調査活動

つくば環境フォーラムで事務局を担当した委託調査の調査活動について紹介。

「茨城県内ブナ調査」（ミュージアムパーク茨城県自然博物館からの委託事業）

筑波山のブナ林を中心に、茨城県内に分布する貴重なブナ林について、保全のための基礎資料となるデータの蓄積を図ることを目的とした以下の調査研究を行いました。

- 筑波山におけるブナの開花結実調査
- 筑波山かたくりの里の刈払い地の植生モニタリング調査
- 筑波山で採集したブナ種子によるブナの育苗
- 茨城県内のブナ、イヌブナの分布調査
- 筑波山ブナ林における動物調査

2. 環境教育推進事業

2-1. 筑波山麓自然学校（つくば市委託事業）

平成 14 年度から筑波ふれあいの里の主催事業の筑波山麓自然学校を企画運営しています。この事業は、筑波ふれあいの里を周知するとともに筑波山麓の自然を学び、里山保全への理解を深めることをめざしています。年間 7 回のイベントを実施、参加のべ人数は 243 名（うち参加者 199 名）でした。

実施日	テーマ	人数
6 月 8 日	沢の生きもの観察会	34 名
7 月 6 日	初夏の生きもの観察	37 名
7 月 31 日	夕方から夜の昆虫観察	34 名
9 月 7 日	虫ムシ探検隊	36 名
10 月 6 日	繭玉から生糸をつくってみよう	29 名
12 月 7 日	森の散策とクリスマスクラフト	31 名
12 月 21 日	筑波山麓の稲わらでしめ縄づくり	27 名



2-2. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森（つくば市委託事業）

つくば市農業課の「高崎自然の森自然体験教室事業」を平成 21 年度より高崎自然の森で「つくば里山楽しみ隊」を実施しています。里山の平地林の価値や、里山の自然の豊かさは人が手入れし利用することで保たれたことを伝えていきます。3 回実施、参加のべ人数 63 名（うち参加者 45 名）でした。

実施日	テーマ	人数
6 月 1 日	桜の実生集めと苗づくり 初夏の自然観察	28 名
7 月 24 日	子どもたちによる生きもの調査とスケッチ	16 名
11 月 9 日	森の手入れ体験と秋の自然観察	19 名



2-3. 筑波山自然環境教育事業（つくば市委託事業）

つくば市環境政策課主催の市内の自然環境を学ぶ講座の企画・運営の委託を受け、今年度はすそみの田んぼで秋に親子での生きもの調査活動、葛城の森にて森の観察と手入れ体験を実施しました。参加のべ人数 60 名（うち参加者 46 名）でした。

実施日	テーマ	実施場所	人数
9 月 22 日	田んぼの水生昆虫と植物の観察	すそみの田んぼ	32 名
11 月 30 日	紅葉と落葉の季節の森の自然体験会	葛城の森	28 名



今年度の成果

- ・筑波山麓自然学校について、昨年度に引き続き、筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会と連携した活動を実施、里山の文化を参加者に伝えることが出来た。
- ・筑波山麓自然学校ではどの行事も定員割れすることなく募集を行うことが出来た。
- ・高崎自然の森里山たのしみ隊にて、今年度も筑波フォレストクラブと連携して植樹地の手入れ（間伐）を実施。
- ・それぞれのフィールドにて生物調査データ（主に昆虫）を実施。

2-4. その他の環境教育推進事業

- ・筑波山自然観察ハンドブックの販売 令和 5 年度は 98 冊販売。
- ・みどりの南小学校学習支援（10/7 5 年生約 100 名対象に近隣のゴルフ場での自然学習）
- ・中央大学杉並高校 22 名の筑波山及びすそみの田んぼでの環境学習支援（1/8, 1/9）

3. 連携促進事業

・筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会との連携

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流をめざし結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会（GT 協議会）に会員として参加、協働した活動を行っています。

- ① 野村不動産㈱のすそみの田んぼでの活動を連携して実施。
田植えイベント 2 回 稲刈りイベント 1 回、すそみの田んぼ支援の御礼のお米を送付。
脱穀 1 回、イノシシ柵見回り 1 回
- ② 筑波山麓自然学校にて、2 回のイベント（藪玉から真綿づくり、しめ縄づくり）を協働で実施。

・筑波大学「つくば生物多様性フェスタ」への参加

11/30 葛城とすそみの紹介、シンポジウム

・その他、他団体との連携

NPO 運営に関する知見を提供する NPO コモンズ、蝶にかかわる自然環境の保全を進める「日本チョウ類保全協会」、持続可能な開発のための教育の推進を目指す「ESD-J」に会員として参加。

4. 情報収集・発信事業

・ホームページ・ブログ・フェイスブック

つくば環境フォーラムのホームページと facebook（フォロワー 824 名 令和 7 年 3 月）で活動の紹介やイベントのお知らせをしています。葛城大規模緑地利活用事業のブログ「葛城の森から」の発信も facebook でお知らせしています。

・つくば市社会福祉協議会の活動への参加

コリドイオ 1 周年&つくば市社会福祉協議会 ボランティアセンター運営委員会発足 10 周年記念シンポジウム（2/11）に参加、発表しました。

5. 環境に配慮したまちづくりの研究・提言事業

- ・つくば市環境保全課生物多様性つくば戦略への参加。4 つの NPO が市の依頼で参加協力している。
- ・つくば市農業課鳥獣対策・森林保全室「つくば森林バンク制度」に関する協力
- ・つくば生きものネットワーク（事務局環境研究所）への参加
- ・つくば生物多様性フェスタ（筑波大学 11/30）への参加

2024 年度会員数：65（正会員 14 準会員 44 賛助会員 3 特別賛助会員 4）
--